

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 51136

区分	イベント	担当課	農政課	作成日	24. 6. 1
事業名	農林まつり	開始年度	1975	予算科目	5.1.3.4.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第5部 多彩な産業の活力あるまちづくり	章	第1章 特色ある農林業の振興
節	第1節 農業の振興	基本施策	3 地域農業の振興
取組みの基本方向		(6)農作業体験の場の提供や食と農に関する普及・啓発をはかります。	
根拠法令等	愛川町農林まつり開催規約		
目 的 (誰・何を対象に、何のために)	町民を対象に町内で生産される農林畜産物等を紹介し消費拡大を促すとともに、町の緑の生活環境の向上と緑化思想の向上を図るため。		
内容・方法 (何を行っているのか)	・町内産農林畜産物の即売事業をはじめ、農林業を身近に感じ、楽しめる啓発事業として、木工教室、春の草花・種子プレゼントやゴーヤを育ててグリーンカーテンを作るコーナー、来場されたお客様が自らが楽しめる米のすくい取り、ビンゴ大会、ステージイベントを実施し、町内の農業について宣伝に努めた。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『農業の振興』について「満足」と感じる住民の割合(%)		30.5		41.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	来場者数(人)	増	地消の動向を見る	計画値		10,000	0	10,000
				実績値	10,000	10,000	0	5,000
				達成度※自動計算		100.0	—	50.0
活動指標	周知のための媒体数(件)	増	まつり開催の浸透を図る	計画値		6	0	6
				実績値	6	6	0	6
				達成度※自動計算		100.0	—	100.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度			基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)			350,000	350,000	0	315,000
(B)概算職員数(人)			0.280	0.280	0.000	0.250
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			2,324,000	2,324,000	0	2,075,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			2,674,000	2,674,000	0	2,390,000
単位当たりコスト※自動計算			267.4	267.4	-	478.0
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源※自動計算		2,674,000	2,674,000	0	2,390,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高 低	B
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	×	C
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 50.00% 縮減率 89.38%	C
総合評価 ※自動判定		廃止も含めた検討が必要	

5. 特記事項

平成23年度は東日本大震災のため、事業を自粛しました。
 平成24年度の来場者数は平成22年度に比べ半減していますが、これは、開催日であった5月3日が大雨警報が発せられるほどの荒天であることが大きく影響したもので、イベントの内容に関する住民の関心の低下などが原因であるとは考えていません。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	一度に、町内産農畜産物の紹介や担い手・参加団体の交流が図られる機会である。		
今後の方向性	昨年度は、東日本大震災のために事業を自粛したが、本年は5月3日(木)に開催した。今後も、町内産農畜産物の広報のため、5月上旬に開催したい。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	今年度の大幅な来場者数の減少は、荒天によるものであり、やむを得ないものと判断する。ただし、開催方法(内容、場所等)の改善など、来場者数を増やすよう取り組むこと。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

引き続き事業を継続するが、平成25年度からは、従来どおり、かえでの広場と文化会館駐車場を利用して実施する。また、関係団体と来場者の増に向け、事業内容等を検討する。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、来場者数増加に向けて取り組むものとする。		